

令和5年度事業報告

人口減少、少子高齢化の進行、地域における人手不足が広まるなか、元気で働く意欲あふれる高齢者が、長年培ってきた知識、技術、経験を発揮し活躍できる社会を創るために、『自主・自立・共働・共助』の事業理念のもと、地域の日常生活に密着した臨時的、短期的、軽易な仕事を健康で安心して働くことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献することを目的としたシルバー人材センター事業の果たす役割の重要性と地域社会からの期待は大きくなってきています。

そのようななか、10月からはインボイス制度が開始され、令和6年秋頃にはフリーランス新法が施行されます。いずれも、シルバー人材センター事業運営に大きく影響するもので、シルバー人材センター事業を取り巻く環境は厳しさを増してきております。

そうしたことから、4月から事務費率を引き上げインボイス制度にかかる新たな消費税増に対応したところです。

また、フリーランス新法の施行にかかる新たな契約方法への移行にともない、事務量の増加が見込まれることから、デジタル化による業務の効率化を図るためのシステム構築の検討、スマートフォン活用推進員養成研修会及びスマートフォン教室の開催、デジタル機器の整備に取り組んだところです。

令和4年度は事故が多く発生したことから、安全第一で事故を起こさないという意識を高めるため、緊急告知・就業だよりの配付や草刈・剪定作業に係る打合せや講習会を開催して、事故情報の共有と事故防止対策を徹底するとともに賠償事故に係る会員負担金の周知を図りました。

事故発生件数は11件で、内訳は傷害事故6件、賠償事故1件、自動車事故4件でした。前年度と比較しますと事故発生件数は6件減少しました。特に賠償事故は8件減少し、自動車事故は4件増加しました。また、傷害事故の4件が蜂刺されでした。

自分の安全は自分で守るという意識を高めるため、危険から身を守るための安全装具の普及推進及び蜂スプレーの配付数を増やしました。

令和6年3月末日現在の会員数は366人で、昨年度と比べ27人減少しました。内訳では男性会員が18人、女性会員が9人それぞれ減りました。

会員数が減少傾向にあることから、引き続き「高齢者就業拡大支援事業」のマッチング支援員と事務局職員との連携を図るとともに、役職員及び会員が一丸となり会員及び就業機会の拡大に取り組んでいきます。また、会員からの相談に親身になって適切に対処し退会抑制を図っていきます。

請負の契約実績額は、143,306,151円で昨年度と比べ17,907,175円の減となりました。

労働者派遣事業の契約実績額は、52,746,750円で前年度と比較しますと23,579円の減となりました。

就業延人員は、昨年度同時期と比べ請負では3,093人、派遣事業では263人それぞれ少なくなっている状況です。

1. 事業実施状況

(1) 会 員 (令和6年3月31日現在)

会員数 366名 (男性 224名 女性 142名)
前年度同期対比 27名減 (男性 18名減 女性 9名減)

(2) 事業実績 (令和6年3月31日現在)

①請負契約金額 143,306,151円 前年度対比 17,907,175円減
(内 公 共 36,243,411円 前年度対比 3,157,796円増)
(内 企 業 82,811,507円 前年度対比 20,420,946円減)
(内 個 人 24,251,233円 前年度対比 644,025円減)
②派遣契約金額 52,746,750円 前年度対比 23,579円減

(3) 就業開拓提供事業

- ①現発注先の継続及び新規受注の開拓
- ②新設事業所及び人出不足事業所への訪問
- ③役職員、会員及びマッチング支援員が連携した就業機会の確保

(4) 安全・適正就業事業

- ①安全・適正就業委員会の開催 5月25日
 - ・令和4年度事故発生状況・事故防止対策実施内容
 - ・安全・適正就業対策実施計画
 - ・安全就業事故防止対策
 - ・作業別安全適正就業基準
 - ・安全パトロール実施計画
- ②安全パトロールの実施 6月26日 8月23日
- ③県SC連合会安全・適正就業推進大会への参加 7月25日 福島テルサ
- ④カルマー刈刃による草刈講習会の開催 4月21日 船引総合利用自然林
- ⑤刈払機取扱技能講習会の開催 9月14日 田村市総合体育館
- ⑥剪定技能講習会の開催 10月19日～20日 天地人大学・針湯荘
- ⑦安全適正就業意識の普及啓発
 - ・安全就業重点事項の周知
 - ・事故の情報共有、事故防止対策の周知
 - ・作業開始前のミーティングの徹底
 - ・自分の安全は自分で守る意識の向上
 - ・賠償事故における会員負担金の周知
 - ・熱中症、蜂刺され、新型コロナウイルス感染拡大防止の注意喚起
- ⑧安全装具の購入支援、蜂スプレーの配付
- ⑨コンプライアンスの遵守

(5) 組織運営体制の充実、事務の効率化

- ①マッチング支援員の配置
- ②スマートフォン活用推進員養成研修会 8月8日～8月10日 センター事務所
- ③スマートフォン教室の開催 9月22日 10月20日 11月22日 船引公民館
- ④スマートフォンの活用やウェブ入会・ウェブ受注システム導入の検討
- ⑤スマートフォン・タブレットの購入
- ⑥班長会の開催 2月20日 船引公民館